

たたらだけじゃない！
吉田は魅力満載の里山です。

俺も行くぜ！



© DEL

たたら^{かた}の里の 語り部隊^べ、 東京に見参！

「たたら」とは？

たたら製鉄とは、木炭を燃やして砂鉄を還元し、純度の高い鉄を生産する日本古来の製鉄法のこと。「吉田」は中世の時代から、この方法で和鉄生産が営まれてきた地であり、全国で唯一、近世の製鉄所跡「菅谷高殿」が現存している。
(写真：近代たたら操業)

日本遺産「^{いずものくに}出雲國たたら風土記」の里 島根県雲南市

吉田が江戸に やってくる！

2017

2/5日

ご来場の方に
抽選でプレゼント！

吉田の観光・体験
モニターツアーに
ご招待

ペア2組様

(1泊2日、航空券・宿泊料無料)



吉田の特産セット 10名様

吉田のブランド米、乾燥・加工食品、
和菓子など

会場

移住・交流情報ガーデン

東京駅八重洲口徒歩5分、銀座線京橋駅徒歩4分
東京都中央区 京橋1丁目1-6 越前屋ビル1F

主催：よしだ農都交流推進協議会



自然

緑の山々に囲まれ、清らかな清流が流れる吉田では、山歩きや川遊び、山菜採りなどが楽しめます。晴れば空は満点の星空。冬は白銀の世界に包まれ、雪遊びも満喫できます。



食

「吉田名物！たまごかけごはん」の村です。地元産のこだわり米に水と餌と平飼いにこだわった卵を入れて、専用醤油をかけて食べると絶品。このほか旬の野菜や原木しいたけなど、美味しい食材の宝庫です。

町並み

石畳に被われた瀟洒なまち並みには、かつて国内最大の鉄山師だった田部家の白壁土蔵群や、たたら製鉄の歴史を伝える博物館などが点在し、人気の観光スポットになっています。



里

険しい山々の裾野に広がる田園地帯には、古きよき「里山」の風景が広がります。人々の暮らしには今もなお、奥出雲地方の伝統や風習が息づき、素朴な田舎暮らしが体験できます。

1部

13:00 ~ 15:00

（地元の語り部隊が、吉田の歴史や文化、
まち並みの魅力を紹介します。）

1. 講座「鉄づくり千年！ たたらの里 吉田の魅力」

朝日 光男 氏 たたらの語り部（名物ガイド）

吉田を訪れる人たちに、かつての鉄山師の仕事や暮らしを伝え続けている名物語り部。その名調子を東京で披露する。

峠 理恵 氏（公財）鉄の歴史村地域振興事業団 理事 / 事務局長
吉田の和鉄生産にかかわる文化財の維持・管理を担う同財団の活動と、これから文化資源の今後の活用ビジョンを語る。

高岡 裕司 氏（株）吉田ふるさと村 代表取締役社長

第三セクターとしての同社の活動紹介とともに、吉田のこれまでの地域づくりの歴史や、今後めざす方向性について語る。



朝日光男氏



2. パネルトーク「いま、吉田がオモシロイ！」

FROGMAN 氏 映像クリエイター

島根県「吉田」が名前の由来である、あの超人気アニメキャラクター「吉田くん」の作者。島根県内での在住経験があり、吉田のこともよく知る同氏が、当地の印象や作品とのかかわりについて語る。

上原 宏 氏（株）NTTドコモ 第一法人営業部 農業ICT推進プロジェクトチーム プロジェクトリーダー
ICT を通じた農業支援のあり方を模索する同社プロジェクトチームを統括。チーム内の女性社員有志で結成された「アグリガール」を率いて、吉田の農業体験イベントなどに参加した経験をもとに、吉田の印象や魅力について語る。

陣山 繁紀 氏 中小企業庁 中小企業構造研究官

職務やプライベートで吉田にたびたび足を運び、当地をよく知る立場から、グリーンツーリズム拠点としての吉田の魅力や、都市農村交流の拡大が、吉田のような農山村にもたらす経済効果などについて語る。



FROGMAN 氏

2部

15:00 ~ 16:30

（吉田名物！たまごかけごはんほか、
吉田の味をお楽しみください。）

吉田のウマイもの試食会 & 産直市

○試食メニュー：

- ・吉田名物！たまごかけごはん
- ・日本初！10 割米粉麺 TAMAMORI（田守り）
- ・純米吟醸無濾過生原酒『要四郎』の試飲も！

○産直市

吉田のブランド米、野菜、乾燥・加工食品、和菓子、お土産グッズなどを販売。
（産地直送の注文販売も承ります。）

2部のみ
参加も可



日本たまごかけごはんシンポジウム in 吉田

会場：移住・交流情報ガーデン



日本遺産「出雲國たたら風土記」の里 島根県雲南市

吉田が江戸にやってくる！

2017

2/5 日

ご来場の方に
抽選でプレゼント！

吉田の観光・体験
モニターツアーに
ご招待

ペア 2 組様

（1 泊 2 日、航空券・宿泊料無料）



吉田の特産セット 10 名様

吉田のブランド米、乾燥・加工食品、
和菓子など

会場

移住・交流情報ガーデン

東京駅八重洲口徒歩 5 分、銀座線京橋駅徒歩 4 分
東京都中央区 京橋 1 丁目 1-6 越前屋ビル 1F

主催：よしだ農都交流推進協議会

私たちは、東京との交流を、 もっと深めていきたいと 考えています。

家族や仲間と楽しめる各種体験プログラムが充実

国内唯一の「たたら製鉄」の本格操業体験や、手軽に楽しめる包丁 / ナイフづくり体験などのプログラムが充実。地域の人たちとの触れ合いを大切にした農・林業体験、空家を使った田舎暮らし体験など、グリーンツーリズムのプログラムが充実しているのが自慢です。

奥出雲の秘境で、暮らして / 働いてみたい人、大歓迎！

空家を活用した住環境整備や、「農業」と「食品加工・商業・わら細工などの伝統工芸復興」を組み合わせた「半農半X」型雇用の仕組みを導入し、U I ターン希望者に来ていただきやすい環境づくりを進めています。まずはお気軽にお問合せください。

都市型企业と連携し、 双方の課題解決をはかるプロジェクトを開発

吉田の課題（人口減少、農業の衰退、里山の荒廃など）と、都市型企業の課題（健康増進・メンタルヘルス、活力ある組織づくり、人材育成など）をマッチングさせ、企業研修やCSRの分野で、双方にメリットが生じるプログラムを開発したいと考えています。関心のある企業様は、ぜひご連絡ください。

吉田を多くの学生が集う“たたら”キャンパスに！

雲南市が進める UCC（雲南コミュニティ・キャンパス）構想の一環で、地元住民や企業、営農組織が連携し、様々な分野の大学生を受け入れています。長期滞在が可能な宿泊施設もあり、インターン制度なども充実。地域の人たちと触れ合いながら、腰を据えて研究・学習活動が進められます。

味覚抜群のこだわり米など、高地で採れた旬の食材を直送

吉田は標高 400 ～ 450m の高地に位置し、昼夜の寒暖差が大きいので、美味しいお米や野菜の産地として有名です。それらを素材にした加工食品も充実しており、ぜひ首都圏の皆さまにも、季節ごとの旬の味を、もっとお届けしたいと考えています。まずは、本イベントで、試食してみてください。

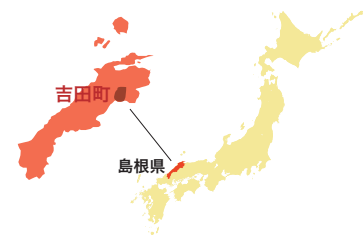


吉田町はこんなところ。

雲南市吉田町は、島根県南東部の奥出雲地方に位置する、急峻な中国山地の山々に囲まれた農村集落です。

昭和 61 年には「鉄の歴史村宣言」を行い、以後、たたら製鉄の文化遺産を維持・管理しながら、それらを有機的に結ぶ「オープンエア・ミュージアム」の建設を推進してきました。人口は約 1800 人。

地域の中心部を中国やまなみ街道（尾道松江線）が縦貫しており、近年はアクセスも改善されました。



日本遺産に認定！

いずものくに

「出雲國たたら風土記」～鉄づくり千年が生んだ物語～

昨年 4 月、吉田町を含む島根県雲南市・安来市・奥出雲町の「出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～」が、日本遺産の認定を受けました。この地域では今でも、世界で唯一、たたら製鉄の炎が燃え続けています。そして「たたら製鉄」という産業が、この地域の景観や文化に多大な影響を与えてきた歴史があり、その影響が今もなお、いちばん色濃く残っているのが吉田町です。



菅谷高殿：国指定重要有形民俗文化財



日本遺産：

地域の有形・無形の文化財群を結びつけ、その地に根付く物語を「日本遺産（Japan Heritage）」として認定し、その活用を奨励する文化庁の制度のこと。

主 催：よしだ農都交流推進協議会 〒690-2801 島根県雲南市吉田町吉田 1061-1

お問合せ先：本イベント事務局

（公財）鉄の歴史村地域振興事業団

TEL：0854-74-0311

（一社）一般社団法人スクナヒコナ（浜崎）TEL：090-2406-9436

お申込み先：sukunahikona.or.jp/nouto

※上記サイトのエントリーフォームにてお申込みください。（上記電話でのお申込みも可）